

第5回 文化遺産防災シンポジウム

文化遺産

～伝統を災害から守る～

このシンポジウムは、本センターが文部科学省より採択を受けた以下の補助事業について、研究成果の公表を行うものです。
 学術フロンティア推進事業「文化遺産と芸術作品を自然災害から防御するための学理の構築」
 グローバルCOEプログラム「歴史都市を守る「文化遺産防災学」推進拠点」

■日時

2009年12月13日(日)

13:30～17:00

■会場

立命館大学 衣笠キャンパス
 創思館1F カンファレンスルーム

【司会】吉越 昭久 立命館大学歴史都市防災研究センター 副センター長

13:30～13:45	シンポジウム開会の辞	土岐 憲三 立命館大学歴史都市防災研究センター センター長
13:45～14:30	「京町家『杉本家住宅』の保存活動について」	杉本 節子 氏 財団法人奈良屋記念杉本家保存会 事務局長、料理研究家
14:30～15:15	「京都花街の形成と災害」	太田 達 氏 株式会社老松 代表取締役社長
15:15～16:00	「文化財保護とマスメディア」	大井 徳三 氏 株式会社NHKエンタープライズ エグゼクティブプロデューサー(美術、歴史担当)
16:00～16:45	「山鉾と天明の大火。町衆の知恵」	吉田 孝次郎 氏 京都生活工芸館・無名舎 主宰、財団法人祇園祭山鉾連合会 副理事長
16:45～17:00	シンポジウム閉会の辞	益田 兼房 立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構 教授

研究成果展示

研究メンバーによる研究成果のポスター展示

於) 歴史都市防災研究センター (シンポジウム当日のみ 18:00まで)

お問い合わせ先

立命館大学研究部人文社会リサーチオフィス内
 歴史都市防災研究センター事務局(担当:橋本)

TEL 075-465-8206 (9:00～17:30) FAX 075-465-8342

**入場
無料**

主催 立命館大学 歴史都市防災研究センター
 後援 財団法人京都市景観・まちづくりセンター